

人類生態学教室年報 —2019年・2020年—
Biannual Report of the Department of Human Ecology —2019/2020—

2021年5月

東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室
Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次

教育活動（2019 年度・2020 年度）	2
学部講義.....	2
学部実習.....	9
大学院講義.....	10
卒業論文.....	12
修士論文.....	12
博士論文.....	12
研究業績（2019 年・2020 年）	13
原著論文.....	13
単行本.....	14
総説・資料・他	14
学会発表.....	15
受賞	17
競争的資金の獲得.....	17
教室員一覧（2019 年度・2020 年度）	19



人類生態学教室ウェブサイト
<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/>

教育活動（2019年度・2020年度）

学部講義

生理学（2年生・必修）

【2019年度】	担当：佐々木誠一
9月27日	生理学の基礎、血液、呼吸
10月4日	循環、腎臓の機能
10月11日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10月18日	内分泌、生殖、神経とシナプス
10月25日	筋収縮、神経系、感覚
11月1日	試験
11月8日	血圧測定と心電図に関する実習
【2020年度】	担当：佐々木誠一
9月25日	生理学の基礎、血液、呼吸
10月2日	循環、腎臓の機能
10月9日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10月16日	内分泌、生殖、神経とシナプス
10月23日	筋収縮、神経系、感覚
10月30日	試験
11月6日	血圧測定と心電図に関する実習

環境と健康（2年生・必修）

【2019年度】

- 11月28日 環境保健学の基礎1：リスク評価
安心／安全とは何か？（小西祥子）
- 12月5日 環境保健学の基礎2：リスクコミュニケーション
妊娠中に魚を食べても大丈夫？（小西祥子）
- 12月12日 大気汚染と健康（新田裕史）、
地球環境と健康（橋爪真弘）
- 12月19日 職場の心理社会的環境と健康（渡辺和広）、
環境対策の実際（渡辺知保）
- 12月26日 衛生環境と健康（仲上豪二郎）、職業曝露と健康（吉田稔）
- 1月9日 トピックス 福島原発事故と健康総合科学、グループワーク発表
（小西祥子）
- 1月16日 まとめと試験（小西祥子）

【2020年度】

- 11月19日 環境保健学の基礎と演習1：リスク評価
安心／安全とは何か？（小西祥子）
- 11月26日 環境保健学の基礎と演習2：リスクコミュニケーション（小西祥子）
- 12月3日 各論1「地球環境と健康」（橋爪真弘）、
各論2「生態系サービスと健康」（大久保悟）
- 12月10日 各論3「近隣居住環境／腸内環境と健康」（梅崎昌裕）、
各論4「災害時の環境モニタリングと健康」（中島大介）
- 12月17日 各論5「水と健康」（片山浩之）、
各論6「福島原発事故と健康」（後藤あや）
- 12月24日 福島原発事故と健康総合科学 グループワークと発表（小西祥子）
- 1月7日 まとめと試験（小西祥子）

薬理学・毒性学（2年生・必修）

【2019年度】

- 11月19日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
- 11月26日 毒とは何か？どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
- 12月3日 薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
- 12月10日 発達神経毒性、動物を用いた行動毒性試験（藪島旭）
- 12月17日 薬理ゲノム学（東口治弘）、自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）
- 1月7日 薬物間相互作用（高田龍平）、薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）
- 1月14日 中枢神経薬理学（上田泰己）、医薬品の安全評価（小出大介）
- 1月21日 試験

【2020年度】

- 12月1日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
- 12月8日 毒とは何か？どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
- 12月15日 薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
- 12月22日 発達神経毒性、動物を用いた行動毒性試験（藪島旭）
- 1月5日 薬理ゲノム学（東口治弘）、自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）
- 1月12日 薬物間相互作用（高田龍平）、薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）
- 1月13日 中枢神経薬理学（上田泰己）、医薬品の安全評価（小出大介）
- 1月19日 試験

人類生態学 (3年生・必修)

【2019年度】

- 4月9日 人類生態学の考え方 (梅崎昌裕)、自然人類学の方法 (米田穰)
- 4月16日 栄養と健康 (梅崎昌裕)
- 5月7日 行動の生態学 (梅崎昌裕)
- 5月14日 人口からみた人間 (小西祥子)
- 5月21日 社会の構造 (梅崎昌裕)、文化の進化 (井原泰雄)
- 5月28日 人類生態学のトピックス
- 1) 食嗜好と子どもの成長 (小坂理子)
 - 2) 腸内細菌と健康 (高安伶奈)
 - 3) ヒトの「不妊」は進化の結果生じたか？
出生と妊孕力に関する研究の紹介 (小西祥子)
 - 4) えぐい野生植物への嗜好性と健康 (梅崎昌裕)
- 6月5日 まとめと試験

【2020年度】

- 4月7日 生態系の中の人間 (梅崎昌裕)
- 4月14日 人間の生存と健康 (梅崎昌裕)
- 4月28日 生態人類学の研究 (梅崎昌裕)
- 5月12日 人類生態学の考え方 (梅崎昌裕)、人口からみた人間 (小西祥子)
- 5月19日 社会の構造 (梅崎昌裕)、自然人類学の方法 (米田穰)、
文化の進化 (井原泰雄)
- 5月26日 人類生態学のトピックス
- 1) 食嗜好と子どもの成長 (小坂理子)
 - 2) 腸内細菌と健康 (高安伶奈)
 - 3) 人口転換のはじまりと終わり、そして未来 (小西祥子)
 - 4) えぐい野生植物への嗜好性と健康 (梅崎昌裕)
- 6月3日 まとめ (梅崎昌裕)、試験

医療人類学（3年生・選択）

【2019年度】 担当：梅崎昌裕、卯田宗平、田所聖志

4月5日 信念・身体感

4月19日 リスク

4月26日 文化相対主義

5月10日 規範・制度

5月24日 贈答・交換

5月29日 正義・互酬性

5月31日 異文化理解

10月19-20日 フィールドワーク実習（長崎県平戸市度島）

【2020年度】 担当：梅崎昌裕、卯田宗平、田所聖志

4月10日 ガイダンス、身体観

4月17日 文化相対主義

4月24日 規範・制度

5月1日 互酬性

5月8日 暴力・災害

5月22日 リスク、総合討論

人口学（3年生・選択）

【2019年度】

- 9月24日 人口構造の分析・人口指標の計算（小西祥子）
- 10月1日 死亡の人口指標（標準化死亡率／比、生命表解析：小西祥子）
- 10月8日 出生の人口指標（普通出生率、合計特殊出生率：小西祥子）
- 10月15日 出生の生物人口学（小西祥子）
- 10月29日 人類集団の人口学（末吉秀二、梅崎昌裕）
- 11月5日 人口推計の方法（小西祥子）
- 11月12日 世界と日本の人口問題（小西祥子）

【2020年度】

- 9月29日 「人口学」はヒトの数を数える学問である！？
—人口統計学の基礎理論・人口の構造理論（小西祥子）
- 10月6日 地球人口はどこまで増えるのか？—人口の成長理論（小西祥子）
- 10月13日 「子ども数」はどのように決まるのか？
—出生の理論・出生の生物人口学（小西祥子）
- 10月20日 平均寿命の計算方法をマスターしよう！
—死亡と生命表の理論（小西祥子）
- 10月27日 フィールドワークで人口を研究する
—人類集団の人口学【トピックス】（末吉秀二、梅崎昌裕）
- 11月10日 人口学の超有名理論を理解しよう！
—人口再生産理論・安定人口理論（小西祥子）
- 11月17日 人類の未来を投影によって考える—人口推計・試験（小西祥子）

環境人間工学（4年生・選択）

【2019年度】

- 6月5日 オリエンテーションなど（小坂理子）
6月12日 バイオ医薬品・遺伝子治療・メッセンジャーRNA 医薬品（内田智士）
6月19日 都市環境と身体活動（樋野公宏）
6月26日 Ecological Momentary Assessment の臨床応用（吉内一浩）
7月3日 ロボット工学とサイバーフィジカル みまもり工学への一歩（森武俊）
7月10日 ロボット工学とサイバーフィジカル
 非拘束人体センシングからロボティックマットレスまで（野口博史）
7月17日 環境工学におけるリスク管理（福士謙介）

【2020年度】

- 6月10日 カフレス血圧計測、ストレス計測、頭脳労働生産性向上（割澤伸一）
6月17日 ロボット工学とサイバーフィジカル みまもり工学への一歩（森武俊）
6月24日 バイオ医薬品、遺伝子治療、メッセンジャーRNA 医薬品（内田智士）
7月1日 Ecological Momentary Assessment の臨床応用（吉内一浩）
7月8日 近隣居住環境と身体活動（小坂理子）
7月22日 試験

健康空間情報科学（4年生・選択）

【2019年度】 担当：小坂理子

- 9月30日 基盤地図情報のダウンロードと地図化
10月7日 国勢調査データのダウンロードと地図化
10月21日 国土数値情報のダウンロードと地図化
10月28日 標準地域メッシュ統計のダウンロードと地図化
11月7日 空間データへの属性データの結合
11月11日 主題図の作成と発表
11月13日 主題図の作成と発表

【2019年度】 担当：小坂理子

- 9月28日 基盤地図情報のダウンロードと地図化
10月5日 国勢調査データのダウンロードと地図化
10月12日 国土数値情報のダウンロードと地図化
10月19日 標準地域メッシュ統計のダウンロードと地図化
10月26日 空間データへの属性データの結合
11月2日 主題図の作成と発表
11月9日 主題図の作成と発表

学部実習

生命環境科学演習 (3年生・専修必修)

【2019年度】 6月19日 担当：小西祥子、高安伶奈 環境化学 (微量元素)

【2020年度】 6月22日 担当：高安伶奈

大学院講義

人類生態学特論 I (Human Ecology I)

【2019 年度】

- April 19 Orientation (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)
- April 26 Anthropological Perspectives on Health and Disease (Masahiro Umezaki)
- May 10 Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro Umezaki)
- May 17 Medical Anthropology (Junko Kitanaka)
- May 24 Environmental Health and Human Ecology (Shoko Konishi)
- June 7 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)
- June 21 Case studies of Human Ecology (Masahiro Umezaki)

【2020 年度】

- May 8 Human Ecology Perspectives (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)
- May 15 Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro Umezaki)
- May 22 Urban Health (Keiko Nakamura)
- May 29 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)
- June 5 Anthropological Perspectives on Health and Disease (Masahiro Umezaki)
- June 12 Environmental Health and Human Ecology (Shoko Konishi)
- June 19 Case studies of Human Ecology
(Masahiro Umezaki, Shoko Konishi, Satoko Kosaka, Lena Takayasu)

人類生態学特論 II (Human Ecology II)

【2019 年度】

- Oct 9 Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)
- Oct 16 Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape:
Evolution, zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)
- Oct 23 Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)
- Oct 30 Epidemiological Studies of Minamata Disease and Air Pollution
(Takashi Yorifuji)
- Nov 6 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties,
Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
- Nov 14 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- Nov 20 Gut microbiota and Health (Lena Takayasu)

【2020 年度】

- Oct 7 Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape:
Evolution, zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)
- Oct 14 Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)
- Oct 21 Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)
- Oct 28 Medical Anthropology and Global Health: Exploring the Complex
Relationship between Culture, Society and Health/Illness, and Meeting
Public Health Challenges in a Globalizing World (Ryoko Michinobu)
- Nov 4 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties,
Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
- Nov 12 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- Nov 18 Gut microbiota and Health (Lena Takayasu)

卒業論文

【2019 年度】

濱崎貴介

妊娠確率の異質性についてのモデル研究

Yuki Nagai / 永井裕貴

Betel nut chewing and smoking among adults in Uaripi village, Gulf province in Papua New Guinea

【2020 年度】

前川瑞穂

子どもの低栄養に対する Water, Sanitation and Hygiene (WASH)の影響：Papua New Guinea Demographic and Health Survey (2016-2018)の分析

Momoka Masuda / 増田桃佳

Dietary Patterns and Telomere Length in Young Japanese Women

山下大志

日本人女性における早産と男性パートナーの年齢の関連についての研究

修士論文

【2019 年度】

Mihoko Kibe / 木部未帆子

Divergence in nutritional intake and physical activity patterns among households in a village of ethnic minorities in Northern Laos at the initial stage of health transition

【2020 年度】

Hur Kyu

The modifying effect of airborne pollen on the association between air pollution and mortality: an analysis of eight cities in Kyushu, Japan

山中裕太

高齢者に対する様々な生活支援の受容に関わる背景:地域包括ケアシステムの展開に向けた基礎的研究

博士論文

【2019 年度】【2020 年度】 該当なし

研究業績 (2019 年・2020 年)

原著論文

【2019 年】

- Horwood PF, Tarantola A, Navarro S, Goarant C, Matsui M, Klement E, Umezaki M and Greenhill AR. (2019) Health challenges of the Pacific region: Insights from history, geography, social determinants, genetics and the microbiome. *Front Immunol*. doi: 10.3389/fimmu.2019.02184
- Wai KM, Umezaki M, Mar O, Umemura M, Chiho Watanabe (2019) Arsenic exposure through drinking water and oxidative stress status: A cross-sectional study in Ayeyarwaddy region, Myanmar. *J Trace Elem Med Biol*, 54:103-109.
- Wai KM, Ser PH, Ahmad SA, Yasmin R, Ito Y, Konishi S, Umezaki M, Watanabe C. (2019) In-utero arsenic exposure and growth of infants from birth to 6 months of age: a prospective cohort study in rural Bangladesh. *Int J Environ Health Res*, 1-14.
- Mizuno Y, Konishi S, Imai H, Fujimori E, Kojima N, Yoshinaga J (2019) Cadmium exposure and blood telomere length in female university students in Japan. *Biol Trace Elem Res*. <https://doi.org/10.1007/s12011-019-1656-3>.
- Khan R, Konishi S, Ng CFS, Umezaki M, Kabir AF, Tasmin S, Watanabe C (2019) Association between short-term exposure to fine particulate matter and daily emergency room visits at a cardiovascular hospital in Dhaka, Bangladesh. *Sci Total Environ*, 646:1030-1036.

【2020 年】

- Jonduo M, Lorry W, Geraldine M, Hattori M, Suda W, Takayasu L, Abdad Y, Greenhill A, Horwood, P, Pomat W, Umezaki M. (2020). Gut microbiota composition in obese and non-obese adult relatives from the highlands of Papua New Guinea. *FEMS Microbiol Lett*. 367(19), fnaa161.
- Masuoka H, Suda W, Tomitsuka E, Shindo C, Takayasu L, Horwood P, Greenhill A, Hattori M, Umezaki M, Hirayama K. (2020). The influences of low protein diet on the intestinal microbiota of mice. *Sci Rep*. 10(1), 1-10.
- Ieiri MCA, Kosaka S, Umezaki M. (2020). Factors affecting undernutrition among school children in Cebu, Philippines. *Ecol Food Nutr*. 1-16.
- Wai KM, Umezaki M, Umemura M, Mar O, Watanabe C. (2020) Protective role of selenium in the shortening of telomere length in newborns induced by in utero heavy metal exposure. *Environ Res*. 183, 109202.

- Konishi S, Saotome TT, Shimizu K, Oba MS, O'Connor KA. (2020) Coital frequency and the probability of pregnancy in couples trying to conceive their first child: A prospective cohort study in Japan. *Int J Environ Res Public Health*, 17, 4985; doi:10.3390/ijerph17144985.
- Takewaki D, Suda W, Sato W, Takayasu L, Kumar N, Kimura K, Kaga N, Mizuno T, Miyake S, Hattori M, Yamamura T. (2020) Alterations of the gut ecological and functional microenvironment in different stages of multiple sclerosis. *Proc Natl Acad Sci USA*. 117(36):22402-22412.
- Watanabe K, Morohoshi S, Kunihiro T, Ishii Y, Takayasu L, Ogata Y, Shindo C, Suda W. (2020) *Fluviibacter phosphoraccumulans* gen. nov., sp. nov., a polyphosphate-accumulating bacterium of *Fluviibacteraceae* fam. nov., isolated from surface river water. *Int J Syst Evol Microbiol*. 70(10), 5551-5560.

単行本

【2019年】

該当なし

【2020年】

- 梅崎昌裕, 風間計博 (編) (2020) 『オセアニアで学ぶ人類学』 昭和堂.
- 小西祥子 (2020) 「『集まる』ための性行動と再生産」 大塚柳太郎 (編) 『生態人類学は挑む SESSION 1 動く・集まる』 京都大学学術出版会. pp. 153-174.

総説・資料・他

【2019年】

- 高安伶奈, 増岡弘晃, 須田互 (2019) 腸内細菌叢の解析法の進歩, *モダンメディア*, 65(11): 133-138.
- 小坂理子 (2019) 「食と健康」 信田敏宏 (編) 『東南アジア文化事典』 丸善出版. pp. 428-429.
- 小西祥子 (2019) 「『妊娠しやすさ』の科学的な評価—受胎確率と妊娠待ち時間—」 *保健の科学* 61:599-603. 特集：出生力にかかわる生物学的・行動学的な要因

【2020年】

- 高安伶奈 (2020) 「腸内細菌叢予測への取り組み 1:常在細菌叢データの数理への応用に向けて」 福田真嗣 (編) 『腸内デザインに向けた腸内細菌叢生態学』 羊土社. pp. 3060-3065.
- 増岡弘晃, 須田互, 高安伶奈 (2020) マイクロバイオーム研究手法. *臨床免疫・アレルギー科*, 74(1):1-6.

- 高安伶奈 (2020) 「メタゲノム解析法」 梅崎良則, 藤沢倫彦, 大橋雄二 (編) 『腸内細菌叢の基礎知識と研究開発における留意点』 情報機構. pp 62-70
- 高安伶奈 (2020) 「マウス：加齢と腸内細菌叢」 服部正平 (編) 『ヒトマイクロバイオーム Vol.2 一解析技術の進展とデータ駆動型・ターゲット機能型研究最前線一』 NTS. pp. 149-153
- 高安伶奈, 増岡弘晃, 須田互 (2020) 腸内細菌叢の解析法の進歩. モダンメディア, 66(5); 133-138.

学会発表

【2019年】

- 濱崎貴介, 小西祥子, 高安伶奈, 大槻久. 妊娠確率の異質性と完全不妊についてのモデル研究. 第12回人間行動進化学会, 2019年12月7-8日, 東京.
- 高安伶奈. マイクロバイオームのダイナミクスの特徴とモデル化. 第42回日本分子生物学会, 2019年12月3-6日, 福岡.
- 梅崎昌裕. 知られざるヒトの適応機構の解明：フィールドワークからの挑戦. 第39回日本看護科学学会学術集会, 2019年11月30日-12月1日, 金沢.
- 水野佑紀, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部山岳民の尿中ヒ素濃度と属性・生活習慣および血圧との関連. 第25回ヒ素シンポジウム, 2019年11月23-24日, 群馬.
- Konishi S, Saotome TT, Shimizu K, Oba MS, O'Connor KA. Coital frequency, infertility treatment, and probability of conception of Japanese couples trying to conceive. The Annual Meeting of the American Anthropological Association, November 20-24, 2019, Vancouver, BC.
- 小西祥子, 梅崎昌裕, 鈴木庄亮. 女性の既往出生児数と主観的健康の関連－検証的因子分析を用いたメカニズムの検討. 第84回日本健康学会, 2019年11月1-3日, 長崎.
- 酒井悠衣, 荒木徹也, 関山牧子, 小西祥子. インドネシアにおける食塩摂取量の推定. 第84回日本健康学会, 2019年11月1-3日, 長崎.
- 中尾理恵子, 大西真由美, 夏原和美, 小谷真吾, 田所聖志, 末吉秀二, 柳生文宏, 梅崎昌裕. 中高年住民の災害に対する備えに関連する要因－長崎エコヘルス調査－. 第84回日本健康学会, 2019年11月1-3日, 長崎.
- 水野佑紀, 梅崎昌裕, 小西祥子, 清水華, 渡辺知保, ENVRERA 調査グループ. 尿中重金属類濃度と血圧との関連: ENVRERA 調査のデータベース解析. メタルバイオサイエンス研究会 2019, 2019年10月29-30日, 東京. (ポスター)

- 高安伶奈. マイクロバイオームデータの解析実践. 御茶ノ水 Oncology Forum 2019～肺癌治療～, 2019年9月21日, 東京.
- 高安伶奈, 須田互, 渡辺栄一郎, 梅山大地, 黒川李奈, 服部正平. メタゲノムデータを活用した常在細菌叢の時系列解析. 日本微生物生態学会第33回大会, 2019年9月10-13日, 甲府.
- Hiroaki Masuoka, Masahiro Umezaki, Wataru Suda, Lena Takayasu, Eriko Tomitsuka, Paul Horwood, Andrew Greenhill, Masahira Hattori, Kazuhiro Hirayama. Adaptation to low-protein diet induced by transplantation of human microbiota in germfree mice. Cold Spring Harbor Laboratory Meeting 2019: Microbiome. July 18-21, 2019, New York, The United States. (Poster)
- 水野佑紀, 小西祥子, 後藤千穂, 梅崎昌裕, 今井秀樹. 栄養素摂取量とテロメア長との関連. 第89回日本衛生学会学術総会, 2019年2月1-3日, 名古屋.

【2020年】

- 小西祥子, 森木美恵, 仮屋ふみ子, 赤川学. 現代日本の男性の社会経済的属性と再生産行動. 日本人間行動進化学会第13回大会, 2020年12月12-13日, 福岡 (オンライン).
- 梅崎昌裕. 人類にとって「労働/朗働」とは何か. 第28回日本産業ストレス学会 (特別講演). 2020年12月4-5日 (オンライン).
- 水野佑紀, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部住民の重金属類暴露と血圧との関連. 第31回日本微量元素学会学術集会, 2020年11月27-28日, 静岡.
- 小西祥子. 第1子の妊娠待ち時間と第2子出生のタイミング: 妊孕力と出生力の関連についての予備的分析. 日本人口学会第72回大会, 2020年11月14-15日, 越谷 (オンライン).
- 高安伶奈. 一生にわたる腸内細菌叢ダイナミクスと寿命. 第20回生命科学シンポジウム, 2020年10月30-31日 (オンライン).
- 高安伶奈. 宿主寿命に関わる腸内細菌叢ダイナミクス. 日本人口学会東日本地域部会 (招待講演). 2020年9月19日 (オンライン).
- Lena Takayasu. Procedures and protocols for gut microbiome analysis. International Workshop on Eukaryotic Microbiome. The Asian Research Network on Eukaryotic Microbiome Studies (招待講演). 2020年3月18日. Tokyo.
- 水野佑紀, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部住民の尿中重金属類濃度と血圧との関連. 第90回日本衛生学会学術総会, 2020年3月, 盛岡 (誌上開催).
- 高安伶奈. 一生にわたるマウス腸内細菌叢の時系列ダイナミクス. Universal Biology Institute seminar 53th, 2020年1月30日. 東京.

受賞

【2019年】

- 日本ヒ素研究会 第25回ヒ素シンポジウム奨励賞（水野佑紀）
水野佑紀, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部山岳民の尿中ヒ素濃度と属性・生活習慣および血圧との関連. 第25回ヒ素シンポジウム, 2019年11月23-24日, 群馬.

【2020年】

- 日本人口学会 第17回日本人口学会優秀論文賞（小西祥子）
Konishi S, Sakata S, Oba SM, O'Connor KA. Age and time to pregnancy for the first child among couples in Japan. J Pop Stud (Jinkogakukenkkyu) 54, 1-18.
- みんぱく若手研究者奨励セミナー賞（木部未帆子）
木部未帆子. 少数民族の危機と移住ーラオス山岳部の農村における集落統合後の土地利用と生存戦略の民族間差一. 2020年度みんぱく若手研究者奨励セミナー. 2020年11月25-26日. 大阪.

競争的資金の獲得

【2019年度および2020年度に新たに獲得したもの】

- 2021-2022年度. 食の文化研究助成事業. 「忌避される味の嗜好ーなぜラオス山岳部の少数民族集団は野生植物を食べるのかー」(代表者: 木部未帆子)
- 2021-2022年度. 公益財団法人発酵研究所(若手研究者助成). 「マウス腸内細菌におけるゲノム進化速度の解明」(代表者: 高安伶奈)
- 2020-2024年度. 科学研究費補助金・基盤研究(C). 「栄養転換の進展と栄養不良の二重負荷ーインドネシア・スンダ農村での継続的観察調査ー」(代表者: 小坂理子)
- 2020-2021年度. 三菱財団自然科学研究助成. 「腸内細菌がタンパク必要量に与える影響: パプアニューギニア高地人の糞便サンプルを用いた研究」(代表者: 梅崎昌裕)
- 2020-2021年度. 科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型). 「リモートオセアニアへの拡散を可能にした栄養適応システムの解明」(代表者: 梅崎昌裕)
- 2020-2021年度. 科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽). 「人類が直面する「健康転換」の知られざる背景: ファイトケミカルと腸内細菌叢」(代表者: 梅崎昌裕)
- 2019-2023年度. 科学研究費補助金・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)). 「東南アジア諸国の食塩摂取量およびコールドチェーンが国民健康改善に及ぼす影響の評価」(代表者: 荒木徹也, 分担者: 小西祥子)

- 2019-2022 年度. 科学研究費補助金・基盤研究 (B). 「人類の低タンパク適応メカニズムの固有性と普遍性」 (代表者: 梅崎昌裕)
- 2019-2021 年度. 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 (グローバル展開プログラム). 「技術革新および環境化学物質は不妊を増加させたか」 (代表者: 小西祥子)

教室員一覧（2019年度・2020年度）

名誉教授

鈴木 継美 (2008年5月ご逝去)
大塚 柳太郎
渡辺 知保

教授

梅崎 昌裕

准教授

小西 祥子

助教

小坂 理子
高安 伶奈

サポートスタッフ

大和田 昌代
仮屋 ふみ子 (2019年7月～)

博士課程大学院生

水野 佑紀
Maricor Carmela Amoguis leiri (2019年4月～)
Richard III Flores Carino (2019年4月～)
木部 未帆子 (2020年4月～)
Novee Lor Leyso (2020年4月～)

修士課程大学院生

木部 未帆子 (~2020年3月)
Kyu Hur (2019年4月～2021年3月)
山中 裕太 (2019年4月～2021年3月)
田久保 亜美 (2019年4月～)
濱崎 貴介 (2020年4月～)
Claire Liow Yi Jia (同上)

Cindy Rahman Aisyah (同上)
永井 祐貴 (同上)
関家 紗愛 (同上)

学部学生 (卒業論文)

濱崎 貴介 (~2020年3月)
永井 祐貴 (同上)
増田 桃佳 (~2021年3月)
山下 大志 (同上)
前川瑞穂 (同上)

客員研究員

須田 一弘
野林 厚志
夏原 和美
富田 晋介
田所 聖志 (2019年4月~)
稲葉 洋平 (同上)
斎藤 佳絵 (2019年7月~)
森木 美恵 (2020年1月~)
須田 亙 (2020年4月~)
Kyi Mar Wai (2020年7月~)
大西 真由美 (2020年9月~)
中尾 理恵子 (同上)
浅見 幸夫 (2019年7月~2021年3月)

非常勤講師

大久保 悟
金子 隆一
北中 淳子
後藤 あや
是川 夕
佐々木 誠一
柴田 康行
田所 聖志
中村 桂子

齋島 旭

橋爪 真弘

姫野 誠一郎

道信 良子

門司 和彦

吉田 稔

山越 言

頼藤 貴志